

# 学ぶ楽しさ

小学校高学年

総合

理科

課外授業 ようこそ先輩 29分

## 自然を感じれば 天気が見える 気象予報士 森田正光

(2009年放送)

### この番組の良さ



#### プロのお天気キャスター

森田正光さんは、長年プロの「お天気キャスター」として、天気予報を分かりやすく解説しています。そして、天気予報だけでなく、自然のすばらしさや偉大さも楽しく伝えてくれています。

本番組では、森田さんの母校・名古屋市長高蔵小学校で「みんなで天気予報に挑戦しよう」の授業を行いながら、天気予報の楽しさや大事さを伝えてくれます。そして、どんな思いで天気予報をしているかを教えてください。

#### 天気予報はどうやってするの？

気象衛星などのデータを使わなくても、身の回りの自然をじっくり眺めれば天気は見えてくると、森田さんは言います。本番組を通して、天気予報の仕方や私たちと自然との関わり方を具体的に知ることができます。

### 番組活用のポイント

#### 結果よりも過程を大切にしよう

気象予報士は、さまざまなデータを分析して天気を予報します。森田さんは、その中でも「観測ほど大切なものはない」と言います。そして、天気を当てることが重要ではなく、どのような観測からその予報を導き出したのか、その過程を試行錯誤しながら考えていくことの方が大事だと考えています。仮説を立て、自分で考えた方法を実践し、結果を考察する。これは、これから社会で生活していく子供たちにとって、身につけておきたい問題解決のためのプロセスです。本番組では、森田さんがさまざまな事例を挙げながら、安易に答えだけを知りたがる子供たちの意識をゆさぶり、自分で行動して導き出すことの楽しさを伝えてくれます。

#### 自然を観察して、天気予報をしてみよう！

番組中、森田さんは「気象衛星などのデータを使わなくても、身の回りの自然をじっくり眺めれば天気は見えてくるんだよ」と言います。そこで、子供たちは自分たちのできることを通して天気予報に取り組みます。古くからの天気の良い伝えを町で聞いて回ったり、風や雲、夕焼けなどを毎日観測したりして、予報を立ててみます。果たして子供たちの天気予報は当たるのでしょうか。子供たちの天気予報の立て方と結果から、森田さんが天気予報で大切なことを伝えてくれます。

#### 興味・関心をより高めるために

自然や科学の不思議に興味・関心を高めるために、本番組の活用だけでなくとどまらず、他のティーチャーズ・ライブラリーの番組などを資料として活用すると効果的です。学ぶ楽しさを知ることのできる番組「大科学実験」や、問題解決のためのプロセスを身につけ、思考力を鍛えるための番組「考えるカラス」などを、学習の流れや子供たちの問題意識に応じて選択し活用すると効果的です。

学習展開例



授業時間 45分



西条市立氷見小学校  
教諭 山内雅博

新着

# 自然から読み取る天気予報 予報よりも本当に重要なことは？

時間配分	学習活動	教師の支援
5分	<p>① 明日の天気の予想と理由を話し合う。</p> <p>② 天気予報で大事なことは何かを話し合う。</p>	<p>○授業の時間までに明日の天気の予想と理由を考えておくよう指示する。(簡単なワークシートを用意しておくのもよい。)</p> <p>○それぞれの子供の挙げた理由を尊重し受け止めながら、天気の予想で大切なことは何かについて意識が向くよう声かけしていく。</p> <p>○実際にどのように天気予報が行われているか知るとともに、天気予報で大事なことは何かを考えながら番組を視聴することを伝える。</p>
29分	<p>③ 番組を視聴しながら考える。 <b>視聴</b></p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・実際の空を見ながら「観天望気」について説明する森田さん</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・実際の雲を見ながら、天気予報をする子供たち</p> </div> </div>	<p>○天気予報をするために大事だと思ったことを、メモに取るよう指示する。</p> <p>○理科の授業で活用する場合は、雲の写真や名前、特徴を記入したワークシートや掲示物などを用意するとより効果的である。(7分30秒から。)</p> <p>○森田さんの次の言葉を板書きし、意識づける。 「天気予報というのは当てればいいというのではなくて、当ててるまでの過程が大事」 「予報よりも本当に重要なことは確かめるということ」</p>
8分	<p>④ 番組を見ての感想を書き、交流する。</p>	<p>○天気予報で大事なことや、この番組から学んだことを中心に、感想を書くよう声かけする。</p> <p>○感想を交流し、友達のいろいろな考え方にふれることができるようにする。</p> <p>○今後、自分たちの地域の天気予報を観測を取り入れながら予想することを伝え、学習意欲を高める。</p>
3分	<p>⑤ 今日の学習の振り返りを書く。</p>	<p>○今日の学習で学んだことをノートなどに書く。</p>

学びを深めよう

## コラム 観天望気 (かんてんぼうき)

自然現象や生物の行動の様子などから天気を予想すること。またその元となる条件と結論を述べた、天気のことわざのような伝承を「観天望気」と言います。自分たちの地域に伝わる天気のことわざを調べ、観測をして本当に正しいかどうか調べる活動を通じて、自然を感じることや、自然と自分の生活とのつながりを、より深めることができます。番組で取り組んでいるような「観天望気」の天気予報を学習活動に取り入れてみましょう。